

授業概要

中国とその周辺地域の歴史を、まだ教科書には反映されていない、近年の研究成果を踏まえながら講義します。いわゆる「通史」という形ではなく、幾つかのトピックを取り上げる形で歴史過程を概説します。古代中国の歴史が中心とはなりますが、古代社会の制度や思考法は、現代に至るまでの間に失われたのか、残存しているのかを考えることを糸口に、歴史を踏まえた現代社会の再検討を、各テーマごとに試みます。まずは、現代の中国やその周辺地域で生活する人々の、文化や社会を知ってもらおうと思います。そして、その背景にはこういった歴史があるのかを考えていく形で講義を進めます。

授業計画

第1回	東アジアの環境と生活① —— 中国（多様な環境と食文化）
第2回	東アジアの環境と生活① —— 中国（黄河と長江）
第3回	東アジアの環境と生活① —— 中国（言語と地理）
第4回	東アジアの環境と生活② —— モンゴル（遊牧民の生活風景）
第5回	東部ユーラシアの歴史と民族① —— 騎馬遊牧民と中国王朝（嚮化王朝と征服王朝）
第6回	東部ユーラシアの歴史と民族② —— 民族と意識（「中国」が意味するもの）
第7回	東部ユーラシアの歴史と民族② —— 民族と意識（「国民」と「民族」）
第8回	東部ユーラシアの歴史と民族② —— 民族と意識（「台湾人」と「香港人」）
第9回	アジアの思想と社会① —— 中国思想の源流（新石器時代の「野生の思考」）
第10回	アジアの思想と社会① —— 中国思想の源流（神の政治から人の政治へ）
第11回	アジアの思想と社会② —— 死生観と宗教（仏教とイスラーム）
第12回	アジアの思想と社会② —— 死生観と宗教（東北アジアの死生観と儒教）
第13回	アジアの思想と社会③ —— 「責務」と「救済」（儒教道徳と宗族）
第14回	アジアの思想と社会③ —— 「責務」と「救済」（科挙と官僚）
第15回	アジアの思想と社会③ —— 「責務」と「救済」（「責務」と「救済」の過去・現在・未来）
第16回	筆記試験

到達目標

大学で学ぶ歴史は、高校までのものとは異なります。本講義を通じて、歴史を「おぼえる」ことよりも、「知る」こと、知ったことをもとにして、「考える」ことを体験してみたいと思います。中国とその周辺地域の歴史、そして文化や社会の一端を知ること、視点を相対化し、私たちが生活する日本を含め、現代の世界と社会を見つめ直すこと。本講義が、皆さんにとって、これを「意識」するきっかけになることが目標です。

履修上の注意

欠席、遅刻や途中退席は、平常点の減点対象となります。

受講条件は特にありません。他講義の履修の必要もありません。中国史に限らず歴史一般、歴史に限らず現代中国に興味・関心のある学生の受講も歓迎します。また、高校での日本史や世界史の基礎知識も求めません。

予習復習

講義は、幾つかのテーマを掘り下げる形で行います。予習復習として、通史的理解や、ある特定の時期の全体像についての知識を、NHK 高校講座「世界史」（1回20分、ネット視聴できます）や、web 漫画（講義の中で紹介します）等で補い、講義内容への理解を深めてください。

※NHK 高校講座「世界史」URL：<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/sekaishi/>

評価方法

試験60点、平常点40点で評価します。

試験問題は、10問程度の候補を事前にお知らせします（期末試験では、そのうち4問が出題されます）。講義の進捗具合に従って、随時お伝えします。

平常点は、毎回提出してもらったアクションペーパーの内容により評価します。欠席、遅刻や途中退席は減点対象となります。

テキスト

講義で配布するプリントをテキストとします。参考文献は講義の中で紹介します。